

金属学会セミナー

「状態図の基礎から応用まで」

1. 主催 日本金属学会
2. 協賛 日本鉄鋼協会, 他
3. 日程 昭和 62 年 2 月 4 日 (水), 5 日 (木)
4. 場所 新丸ビル大会議室 (地下 1 階)
(東京都千代田区丸の内
電話 03-214-8045)
5. 受講料 (テキスト代を含む)
会員 (含協賛学協会) 22,000 円
学生会員 7,000 円
申込先 〒980 仙台市荒巻字青葉
日本金属学会 電話 022-223-3685 (代)
6. プログラム

第 1 日 (2 月 4 日) 9:30~17:30

- 状態図研究 100 年 アグネ技術センター 長崎 誠三
材料設計における状態図の役割
東工大精密工学研 鈴木 朝夫
状態図の熱力学 東北大工 西沢 泰二
超高压状態図
阪大極限物質研究センター 遠藤 将一
電子論にもとづく状態図の解析
豊橋技科大 湯川 夏夫, 他

第 2 日 (2 月 5 日) 9:30~17:20

- 鉄鋼状態図のデータベース 東北大工 石田 清仁
機能材料の状態図 京大工 長村 光造
セラミックスの状態図——その特色と問題点
東工大工業材料研 吉村 昌弘
アモルファス相と状態図との関連
名大工 水谷宇一郎
準安定平衡状態図 京大工 新宮 秀夫
その他 III-V 化合物半導体の状態図などについての
デモンストレーションあり

昭和 62 年度 (第 18 回) 塑性加工春季講演会募集

1. 共催 日本塑性加工学会, 日本機械学会
2. 協賛 日本鉄鋼協会, 他
3. 開催日 昭和 62 年 5 月 15 日 (金)~17 日 (日)
4. 会場 千葉工業大学津田沼校舎
5. 講演申込締切日: 昭和 62 年 2 月 14 日 (土) (必着)
6. 講演論文集原稿提出期限: 昭和 62 年 3 月 20 日 (金) (必着)
8. 問合せ・講演申込先 日本塑性加工学会
[〒160 東京都港区六本木 5-2-5
トリカッビル 3 階 電話 (03) 402-0849]

原稿募集

「鉄 と 鋼」特 集 号

テーマ “製鉄技術の拡大と高度化”

原稿締切日 昭和 62 年 3 月 10 日 (火)

昭和 62 年 11 月号 (第 73 年第 15 号) に製鉄特集号を企画しております。鉄鋼業の低成長時代といわれるようになってから、かなりの期間が経過し、この間、製鉄分野においては、省エネルギー化ならびに多様化するエネルギー事情に対応するため幅広い操業法を経験し、技術の拡大と高度化が達成されております。特に、原料分野においては、ミニペレット技術、高被還元性焼結鉱の製造、非焼成原料の開発、新塊成化法、コークスの分野では、コークスの反応性や強度、CDQ 技術、微粉炭や水スラリーの利用、高炉においては、超低シリコン操業、装入物分布制御あるいはトータルシステムとしての管理技術、数学的モデルの活用等に進歩がみられます。一方、高炉法に対抗する直接製鉄法や溶融還元法、さらには、フェロアロイやチタン等鉄以外の金属製錬の研究への広がりもみられます。また、観察、測定技術の面からは、X線断層撮影法、画像処理技術、その他新しいセンサーを活用した炉内計測の研究報告が出されるようになってきております。

そこで、今回は、製鉄全般にわたる技術の高度化および広範囲化という観点から、原料、製鉄のプロセスシステム、新製錬法、測定技術などを中心とした基礎科学的ならびに応用技術的研究の特集号にしたいと考えております。論文、技術報告の両分野に多数御投稿下さいますことを期待しております。

(1) 原稿締切日 昭和 61 年 3 月 10 日 (火)

(2) 発行 鉄と鋼 第 73 年第 15 号 (昭和 62 年 11 月号)

(3) 原稿枚数 論文および技術報告とも刷り上り 8 ページ以内 (表, 図, 写真を含めて本会所定の原稿用紙 40 枚以内)

(注) ・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。

・投稿された原稿は編集委員会において審査されます。

(4) 問い合わせ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3F

(社) 日本鉄鋼協会編集課「製鉄特集号」係

電話 03-279-6021 (代)

(注) 投稿時、原稿用紙に「製鉄特集号」と朱書して下さい。